

# 下水道事業業務状況説明書類 (令和元年度下半期)

# 事業の概況

## 下水道事業の状況

### ●公共下水道の整備状況（R2.3.31現在）

区 分	平成31年3月末	令和元年9月末	令和2年3月末	令和元年度増減	令和元年度下半期増減
供用開始人口	45,911人	—	45,202人	▲ 709人	—
処理人口普及率	95.8%	—	95.8%	0.0%	—
水洗化人口（区域内）	39,860人	39,795人	39,214人	▲ 646人	▲ 581人
水洗化率（区域内）	86.8%	86.9%	86.8%	0.0%	▲ 0.1%

※水洗化率は水洗化人口を供用開始人口で除した数値。

### ●個別排水処理施設の整備状況（R2.3.31現在）

区 分	平成31年3月末	令和元年9月末	令和2年3月末	令和元年度増減	令和元年度下半期増減
設置等基数	82基	83基	88基	6基	5基

※設置等基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含む

## 工事発注の状況（R1.10～R2.3）

### 【公共下水道事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
4 1 3 6 外雨水管渠新設工事	2019/10/1	97,130,000	(株)草塩建設
3 9 1 6 雨水管渠新設工事	2019/10/1	6,105,000	(有)合田産業
汚水桝設置工事その4	2019/10/7	2,689,200	(株)小倉組
汚水桝設置工事その6	2019/11/6	4,708,000	(株)リフイット
汚水桝設置工事その7	2019/11/28	4,807,000	(有)市岡組
汚水桝設置工事その7 (第1回設計変更)	2019/12/26	154,000	(有)市岡組
汚水桝設置工事その8	2020/1/14	4,741,000	(株)相内建設
8 1 7 9 - 7 外汚水管渠新設工事	2020/1/29	3,586,000	(株)林田建設
汚水桝設置工事その9	2020/2/17	475,200	(株)リフイット

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：処理場建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
若山浄化センター改築更新工事（屋上防水）	2019/10/1	9,317,000	ミウラ塗装工業(株)
若山浄化センター改築更新工事（建具）	2019/12/10	2,035,000	住研ホーム(株)
若山浄化センター改築更新工事（土木）	2019/12/19	21,230,000	常盤建設(株)
若山浄化センター改築更新工事（土木） (設計変更)	2020/3/17	33,000	常盤建設(株)

### 【個別排水処理施設事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理整備費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
合併処理浄化槽設置工事その3	2019/11/18	1,716,000	(株)藤田設備工業
合併処理浄化槽設置工事その4	2019/12/19	1,925,000	オール設備(株)
合併処理浄化槽設置工事その5	2020/1/14	2,222,000	オール設備(株)
合併処理浄化槽設置工事その6	2020/2/12	2,255,000	(株)荒川設備
合併処理浄化槽設置工事その6 (第1回設計変更)	2020/3/17	429,000	(株)荒川設備

# 経理の状況

令和元年度 登別市下水道事業貸借対照表  
(令和2年3月31日)

(単位:円)

資 産		の 部	
1	固 定 資 産		
(1)	有 形 固 定 資 産		
	イ 土 地	886,906,909	
	ロ 建 物	912,121,518	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 225,713,099</u>	686,408,419
	ハ 構 築 物	29,476,336,046	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 4,507,112,196</u>	24,969,223,850
	ニ 機 械 及 び 装 置	2,667,129,415	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 1,118,581,104</u>	1,548,548,311
	ホ 車 両 運 搬 具	1,285,200	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 645,200</u>	640,000
	ヘ 工 具、器 具 及 び 備 品	15,268,486	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 13,298,754</u>	1,969,732
	ト 建 設 仮 勘 定		2,462,000
	有 形 固 定 資 産 合 計		<u>28,096,159,221</u>
(2)	無 形 固 定 資 産		
	イ 其 他 無 形 固 定 資 産	1,656,000	
	無 形 固 定 資 産 合 計		<u>1,656,000</u>
	固 定 資 産 合 計		28,097,815,221
2	流 動 資 産		
(1)	現 金 ・ 預 金		356,887,529
(2)	未 収 金	122,747,296	
	貸 倒 引 当 金	<u>△ 7,729,154</u>	<u>115,018,142</u>
	流 動 資 産 合 計		<u>471,905,671</u>
	資 産 合 計		<u>28,569,720,892</u>

(単位:円)

		負 債	の	部	
3	固 定 負 債				
(1)	企 業 債 債				
	イ 建設改良費等の財源に	<u>15,658,462,720</u>			
	企 充てるための企業債 計			15,658,462,720	
(2)	そ の 他 固 定 負 債			<u>320,000</u>	
	固 定 負 債 合 計				15,658,782,720
4	流 動 負 債				
(1)	企 業 債 債				
	イ 建設改良費等の財源に	<u>1,213,283,760</u>			
	企 充てるための企業債 計			1,213,283,760	
(2)	未 払 金			269,181,415	
(3)	引 当 金				
	イ 賞 与 引 当 金	6,399,000			
	ロ 法 定 福 利 費 引 当 金	<u>1,271,000</u>			
	引 当 金 合 計			7,670,000	
(4)	預 り 金			7,781	
(5)	そ の 他 流 動 負 債			<u>420,000</u>	
	流 動 負 債 合 計				1,490,562,956
5	繰 延 収 益 金				
(1)	長 期 前 受 金			12,135,150,629	
(2)	収 益 化 累 計 額			<u>△ 2,468,461,995</u>	
	繰 延 収 益 合 計				<u>9,666,688,634</u>
	負 債 合 計				26,816,034,310
		資 本	の	部	
6	資 本 金				1,150,640,328
7	剰 余 金				
(1)	資 本 剰 余 金				
	イ 補 助 金 合 計	<u>340,627,285</u>			
	資 本 剰 余 金 合 計			340,627,285	
(2)	利 益 剰 余 金				
	イ 減 債 積 立 金	116,683,641			
	ロ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>145,735,328</u>			
	利 益 剰 余 金 合 計			<u>262,418,969</u>	
	剰 余 金 合 計				<u>603,046,254</u>
	資 本 合 計				<u>1,753,686,582</u>
	資 本 負 債 合 計				<u>28,569,720,892</u>

**令和元年度 登別市下水道事業損益計算書**  
(令和元年10月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:円)

1	営業収益			
	(1) 使用料	337,526,515		
	(2) 処理料	10,982,321		
	(3) 他会計負担金	63,822,286		
	(4) その他営業収益	43,500	412,374,622	
2	営業費用			
	(1) 管路費	34,685,969		
	(2) 処理場費	148,705,994		
	(3) 排水設備促進費	52,917		
	(4) し尿投入施設運転管理費	6,407,500		
	(5) 個別排水処理施設管理費	5,662,643		
	(6) 総係費	28,615,176		
	(7) 職員給与費	36,567,595		
	(8) 減価償却費	491,522,235		
	(9) 資産減耗費	11,036,432		
	(10) その他営業費用	55,496	763,311,957	
	営業利益			△ 350,937,335
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	0		
	(2) 他会計補助金	△ 185,106,439		
	(3) 長期前受金戻入	201,829,116		
	(4) その他営業外収益	19,400,774		
	(5) 雑収益	118,143	36,241,594	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	139,755,583		
	(2) 雑支出	0	139,755,583	△ 103,513,989
	経常利益			△ 454,451,324
5	特別利益			
	(1) 過年度損益修正益	0	0	
6	特別損失			
	(1) 固定資産売却損	0		
	(2) 減損損失	0		
	(3) 災害による損失	0		
	(4) 過年度損益修正損失	109,496		
	(5) その他特別損失	0	109,496	△ 109,496
	当年度純利益			△ 454,560,820
	前年度繰越利益剰余金			85,077
	当年度未処分利益剰余金			<u>△ 454,475,743</u>

令和元年度 登別市下水道事業損益計算書  
(平成31年4月1日から令和元年9月30日まで)

(単位:円)

1	営業収益			
	(1) 使用料	324,134,069		
	(2) 処理料	7,717,896		
	(3) 他会計負担金	0		
	(4) その他営業収益	61,800	331,913,765	
2	営業費用			
	(1) 管路費	8,156,942		
	(2) 処理場費	100,950,934		
	(3) 排水設備促進費	151,964		
	(4) し尿投入施設運転管理費	352,500		
	(5) 個別排水処理施設管理費	1,963,902		
	(6) 総係費	351,848		
	(7) 職員給与費	21,029,022		
	(8) 減価償却費	493,614,500		
	(9) 資産減耗費	0		
	(10) その他営業費用	0	626,571,612	
	営業利益			△ 294,657,847
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	10		
	(2) 他会計補助金	827,000,000		
	(3) 長期前受金戻入	207,195,500		
	(4) その他営業外収益	6,410,192		
	(5) 雑収益	21,600	1,040,627,302	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	145,673,307		
	(2) 雑支出	0	145,673,307	894,953,995
	経常利益			600,296,148
5	特別利益			
	(1) 過年度損益修正益	0	0	
6	特別損失			
	(1) 固定資産売却損	0		
	(2) 減損損失	0		
	(3) 災害による損失	0		
	(4) 過年度損益修正損失	0		
	(5) その他特別損失	0	0	0
	当年度純利益			600,296,148
	前年度繰越利益剰余金			0
	当年度未処分利益剰余金			<u>600,296,148</u>

そ の 他

# 新事業年度の経営方針及び予算の概要

## (事業の経営方針)

当市の下水道事業は、収入面においては、平成30年1月1日に実施した使用料改定により、使用料収入は大きく増加しましたが、急激な人口減少に伴う汚水処理人口の縮小などにより、引き続き経営状況を注視していく必要があります。

一方、支出面においては、これまで急速に管渠等の整備を進めてきたことにより、建設事業に係る企業債の元利償還金が高止まりの状態にあるほか、財源調整のために借入れてきた資本費平準化債の公債費負担が年々増加するなど、非常に厳しい経営状況に置かれています。

こうした中、市民生活に不可欠な下水道サービスを安定的に提供していくためには、中長期的な視点から計画的な経営を行うことが必要となりますので、当市では、平成28年度に下水道事業経営戦略を策定し、今後12年間の収支見通しを試算していますが、経営戦略策定後4年間の実績や今後の計画等を踏まえ、令和2年度には経営戦略の見直し、更新を行うこととしています。今年度においても、収入確保や支出削減に努めるとともに、経営戦略に位置づけた取組を着実に実施していきます。

施設の維持管理においては、施設稼働に支障が生じることの無いよう努めることはもちろん、ライフサイクルコストを低減する観点から、施設の効率的な維持管理に資する施設整備事業を重点化するなど、公営企業としての経済性を最大限発揮し、効率的な経営に努めます。

投資事業に関しては、平成22年度以降、雨水管渠の改築や新設を進めており、今後も下水道事業の健全性を堅持しつつ、着実に雨水管渠の整備を進めるため、雨水管渠整備計画に基づき、国庫補助金の配分状況なども勘案しながら、着実に事業を実施していきます。

## (予算の概要)

令和2年度の予算総額は、(公共下水道事業、個別排水処理施設事業をあわせて)収益的収支(3条予算)は、収入が18億7,320万円、支出が17億4,300万円、資本的収支(4条予算)は、収入が8億7,950万円、支出が15億8,030万円となっております。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額7億80万円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額643万7,000円、過年度分損益勘定留保資金1億1,636万5,000円、当年度分損益勘定留保資金5億7,799万8,000円で補てんする予定です。

(単位:千円)

区 分	収 入	支 出
収益的収支(3条予算)	1,873,200	1,740,300
公共下水道事業	1,857,928	1,724,532
個別排水処理施設事業	15,272	15,768
資本的収支(4条予算)	879,500	1,580,300
公共下水道事業	862,986	1,560,341
個別排水処理施設事業	16,514	19,959